

## (5月21日) : 指数は下落も流動性は増加

火曜日の取引で投資家が依然として米中貿易戦争の過熱を懸念している中、ビナミルク (VNM)、ペトロベトナムガス (GAS) などの主要銘柄が冴えない動きだったため、ベトナム株は大引けにかけて下落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.09% 下落し 986.29 ポイントで取引を終えた。月曜日には 1% 以上上昇していた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.03% 下落し 16.28 ポイントで引けた。前日に同指数は 0.5% ほど上昇していた。

流動性は改善し、出来高が 2 億 3420 万株で売買代金が 9.9 兆ドン (4 億 2500 万ドル) であった。月曜日に比べて出来高が 22%、売買代金は 135% 上昇した。

ビンググループ (VIC) の株式が大きく流動性の増加に貢献した。VIC を外国人投資家が 5.8 兆ドンほど買い越したが、株価は変わらずの 117,530 ドンで取引を終えた。

VIC は 375 兆ドン (161 億ドル) の時価総額でベトナム株式市場で最も大きな銘柄で、VN 指数の 11.36% を占めている。

ビナミルク (VNM) とペトロベトナムガス (GAS) の 2 銘柄も時価総額トップ 5 の銘柄だが、VNM は 2.9%、GAS は 1.3% と大きく下落したことが指数を押し下げた。

前場を牽引したのは銀行株だったが、後場には方向感を失った。ベトコムバンク (VCB)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG) は共に 1% 弱値下がりした。その他の小規模銀行であるテクコムバンク (TCB)、サコムバンク (STB)、軍隊商業銀行 (MBB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB) などは 0.3-1.1% ほど下落していた。

上昇した銘柄は、ホーチミン市インフラ投資 (CII)、マッサングループ (MSN)、DHG 製薬 (DHG)、FPT コーポレーション (FPT) などでそれぞれ 1% から 3.8% ほど上昇した。

バオベト証券のアナリストによると、現在の上昇トレンドの中でセクターによって明暗が分かれている。

資金は石油ガス、工業団地関連、繊維、小売りなどのいくつかのセクターに集中し、証券、不動産などのセクターは大きな下落に苦しむことになるだろう。銀行は横ばいが続くか短期的には上昇する可能性もあるとデイリーレポートで報じた。

さらに、米国が華為の事業に圧力をかけるなど、収まる気配の見られない米中貿易戦争によって国内、アジアの投資家心理は悪い影響を受けている。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。